

学報



2016 年 12 月 Vol. 712

高山市で
第 3 3 回岐阜シンポジウムを開催
(11月13日)

第 4 8 回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催	0 1
「岐阜大学産学連携フェア 2016」を開催	0 2
「感染症予防の取り組みについて」(保健管理センター主催) F D を開催	0 4
「岐阜大学フェア in 高山」を開催	0 5
第 3 3 回岐阜シンポジウム「飛騨地域三市一村の首長と岐阜大学長による パネルディスカッション『飛騨地域と岐阜大学のつながりと連携のあり方 ～次世代を担う若者に向けて～』」を開催	0 8
平成 2 8 年度第 7 回学長記者会見を実施	1 0
ベトナムで「GIFU 留学フェア」に参加	1 1
第 7 回連合農学研究科セミナーを開催	1 3
教育学部附属中学校で「学校と地域を繋げる消費者教育実践」を実施	1 4
大学院連合創薬医療情報研究科創設 1 0 周年記念行事を開催	1 5
研究推進・社会連携機構が日本政策金融公庫(岐阜支店)と産学連携等の協力推進に關す る協定を締結	1 7
連合農学研究科が「第 3 回国際ワークショップ」を開催	1 8
「ISO 14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を実施	2 0
「秋のクリーンキャンパス」を実施	2 1
「秋の国際月間」において様々な行事を開催	2 2
八百津町と連携に関する協定を締結	2 6
学位授与	2 7
叙位叙勲	2 8
表彰受賞者	2 9
外国人研究者の受け入れ	3 0
産官学連携の実施状況	3 1
メディア掲載一覧	3 2
諸会議	3 6
主要日誌	3 8
人事異動(学内限定)	3 9
永年勤続者表彰(学内限定)	4 0

第48回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催

11月2日（水）、第48回 岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催した。

この行事は、本学が「環境ユニバーシティ宣言」した11月を岐阜大学環境月間と定め、関連行事として毎年開催しているもの。

今回は、岐阜県立国際園芸アカデミー学長の上田善弘氏を講師に招き、学内外から合計94名の参加があった。

講演では、上田氏より「バラの遺伝資源を求めて～栽培バラのルーツと希少な野生種を探索する～」と題し、バラの遺伝資源の探索について、綺麗なバラや外国の風景の写真とともに、イランやラオス、中国での経験談を含めた説明があった。また、自然破壊や維持管理する人の負担、高齢化の影響で、遺伝資源が失われている実情に触れ、7000種のバラを育てている岐阜県可児市にある花フェスタ記念公園を紹介しながら、貴重な遺伝資源を保存する重要性について説明があった。

講演の後には、上田氏と本学の福井応用生物科学部長との対談が行われ、参加者からは「どんな野生バラにもトゲはありますか」などの質問が多数寄せられた。

参加者からは、「世界に誇るバラ園を持っている岐阜県ならではの内容で楽しかった」といった感想があった。



挨拶する横山理事・副学長（総務・財務担当）



講師紹介をする福井学部長



講演する上田氏



福井学部長と上田氏との対談

「岐阜大学産学連携フェア 2016」を開催

本学研究推進・社会連携機構 産官学連携推進本部は、11月4日（金）に「岐阜大学産学連携フェア2016」をJR岐阜駅前の本学サテライトキャンパスで開催し、107名の参加者があった。

当フェアでは、本学の地域交流協力会と共同開催の「秋の特別講演会」、若手教員の研究成果及び学会賞等を受賞した研究成果を中心とした、関連技術の説明とパネル展示を行った。

当日は、王 産官学連携推進本部長及び岡本 地域交流協力会会長からの挨拶があり、続いて「秋の特別講演会」第1部にて、文部科学省科学技術・学術政策研究所の犬塚 隆志 総括上席研究官より「産官学連携の推進に向けて」と題し、産学連携の現状について講演があった。

第2部の講演では、カレーハウスCoCo壱番屋創業者である宗次徳二氏から「経営とは“継承” 継続して栄えなければ意味がない」と題して、自身の経験を基に、企業経営について講演があった。また、若手研究者による研究成果説明では、3名の若手研究者が発表を行い、参加者からの質問もあり、熱心に耳を傾ける姿が見られた。

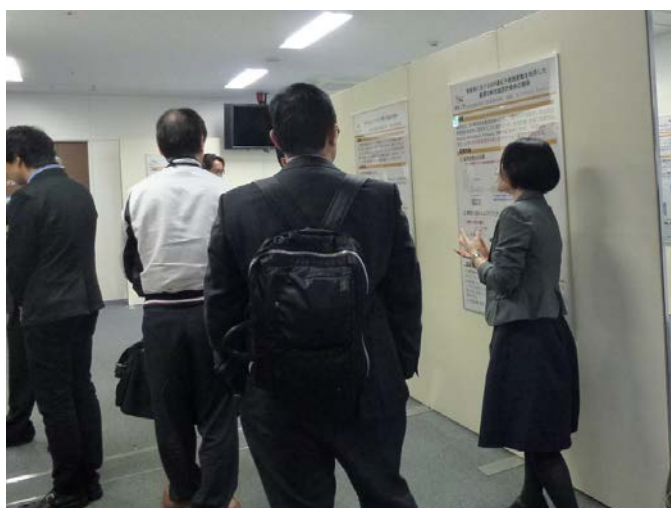
今回は、本学の研究・技術シーズの発信を通じて、企業ニーズとのマッチングの機会を提供することで、地域産業界への貢献を高めることを目的に開催された。今後も同大はこのような活動を継続して実施することとしている。



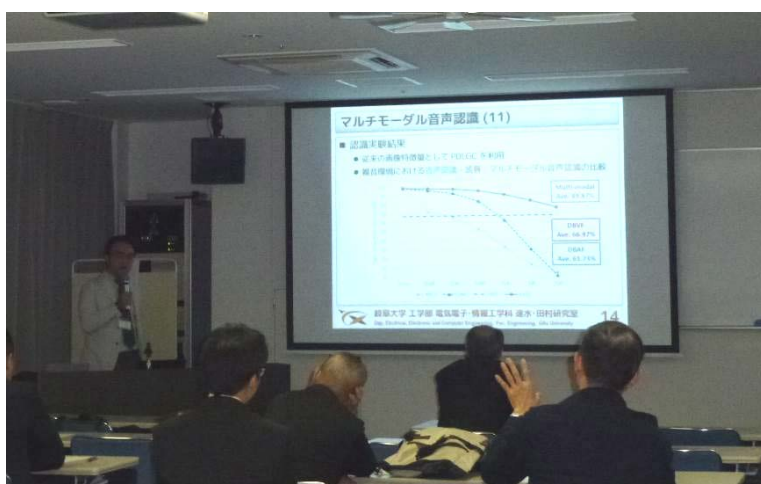
犬塚総括上席研究官による講演



宗次氏による講演



パネル展示の様子



研究成果説明の様子

「感染症予防の取り組みについて」（保健管理センター主催）FDを開催

11月9日（水）、本学保健管理センターによる「感染症予防の取り組みについて」FDを開催した。

大学の国際化が進む本学において、留学生の受入れ及び学生の海外留学が増加する状況をうけ、心身ともに健康を維持して有意義な海外生活を過ごしてもらうための一助となるよう開催されたもの。

FDでは、同センターの山本センター長から、特に本学における結核等の感染症の現況及び感染症予防の取り組みについて、様々なデータに基づいた説明があり、参加した教職員は真剣に聞き入っていた。

今後も、各学部においても適切に感染症予防を行うことができるよう、継続してFDを開催していく予定。



熱心に説明に聞き入る参加者

「岐阜大学フェア in 高山」を開催

本学は11月12日（土）、13日（日）の2日間、高山市の飛騨・世界文化センターにおいて「岐阜大学フェア in 高山」を開催し、延べ約700名の来場者があった。

当フェアは、これまで広く一般市民を対象に、同大の教育、研究、社会貢献活動をアピールするイベントとして2009年から毎年実施されているもので、今回はテーマを「学び、究め、貢献する岐阜大学ーひだでステップ×ひだにプラスー」として、初めて岐阜市を離れて高山市内で、主に飛騨地域の高校生を対象に開催された。

今回のフェアは、平成27年に採択された文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の高大連携事業の一環ということもあり、これまでの研究発表中心の内容とは異なり、高校生やその保護者、一般の皆様に向けて、各学部・センター等の特徴・活動や、学生の教育・課外活動、地域連携の取り組みなどを幅広く紹介する内容となった。

会場では、パネル展示による各学部等の紹介のほか、模擬講義や体験学習、学生の活動紹介など、様々な企画が催された。また、「飛騨地域と岐阜大学のつながりと連携のあり方～次世代を担う若者に向けて～」と題して、飛騨地域の三市一村の首長及び森脇学長がパネルディスカッションを行ったほか、特別講演として菊本照子氏（NGO 団体 Save the Children Centre(SCC)代表・マトマイニ孤児院院長）から「貧困の国でマトマイニ（希望）を育てる～ケニアにおける草の根の活動～」と題した講演があった。加えて、地域住民と学生が同大と地域との繋がりについて考える企画「ぎふフューチャーセンター」や、地域の課題解決や問題の発掘などに向けて大学で推進している「地域志向学プロジェクト」の研究成果報告といった企画も行われた。

飛騨地域の多くの高校生や地域の方の来場があり、本学の取り組みや活動などを広く周知する良い機会となった。



菊本照子氏による特別講演



研究成果報告会



フューチャーセンターの様子



模擬講義の様子



入試相談



各学部やセンター等の紹介



学生企画に参加する高校生



教育学部の学生による体験学習



チアリーダー部「Stars」の発表



留学生による踊りや歌の披露



よさこいサークル「騒屋」による発表

第33回岐阜シンポジウム「飛騨地域三市一村の首長と岐阜大学長によるパネルディスカッション『飛騨地域と岐阜大学のつながりと連携のあり方～次世代を担う若者に向けて～』」を開催

11月13日（日）、高山市の飛騨・世界生活文化センターにおいて、第33回岐阜シンポジウム「飛騨地域三市一村の首長と岐阜大学長によるパネルディスカッション『飛騨地域と岐阜大学のつながりと連携のあり方～次世代を担う若者に向けて～』」を開催した。本行事は、11月12日（土）から13日（日）にかけて開催された「岐阜大学フェア in 高山」の企画の一つとして実施された。

地域における大学のあり方が変わっていく中で、将来本学はどのような役割を担っていくのか、また、飛騨地域の住民や高校生のために何ができるか等について、飛騨地域の三市一村の首長（高山市長 國島芳明氏、飛騨市長 都竹淳也氏、下呂市長 服部秀洋氏、白川村長 成原茂氏）及び森脇学長がパネリストとなってディスカッションを行った。

ディスカッションの話題は大学に限ったものにとどまらず、人口減少問題や地域医療問題、地域おこしなど多岐にわたり、特に飛騨地域と本学とのつながりという部分で、様々な社会情勢等を踏まえた深い議論が繰り広げられた。

終盤には、地元の高校生から「飛騨地域と岐阜大学が交流する機会を今後更に増やしてほしい」といった意見が寄せられるなど、参加者全員がテーマについて考える非常に有意義な機会となった。



会場の様子



高校生からの意見に耳を傾ける森脇学長と三市一村の首長

平成28年度第7回学長記者会見を実施

11月16日（水）に、平成28年度第7回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「大学院連合創薬医療情報研究科 創設10周年記念事業」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行った。

その後、詳細について、同研究科の丹羽雅之研究科長から説明を行った。

連合創薬医療情報研究科は、平成19年4月1日に岐阜大学医学部・工学部ならびに岐阜市立岐阜薬科大学を母体とする国立と公立間の初めての連合大学院として創設され、創薬科学及び医療情報学を中心とした教育・研究を展開し、高度な専門性と先見性、柔軟な発想を有する最先端な領域で活躍できる人材の育成を目指し、本年10周年を迎えた。

本学は、医・薬・獣・工・応生（農）、さらには生命の鎖統合研究センター、臨床施設としての附属病院、附属動物病院が同一キャンパス内に位置し、同研究科はまさにトランスレーショナルリサーチを展開していくうえで、非常に恵まれた環境下に置かれている。

今後も、創薬・医療情報・トランスレーショナルリサーチをキーワードとした教育・研究・人材養成の場としてグローバルな展開を遂げるとともに、キャンパス内のハブ的な役割を更に高めるべく取り組んでいく。



森脇学長による説明



丹羽研究科長による説明

ベトナムで「GIFU 留学フェア」に参加

本学は、11月18日（金）から20日（日）にかけてベトナムで開催された岐阜県主催の「GIFU 留学フェア」に参加した。本フェアは岐阜県内の大学・教育機関へベトナムからの留学生を呼び込むことを目的とし、ハノイ、ホーチミンの両都市で行われた。

本学からは酒光就職支援室長、学術国際部国際企画課亀井主任及び応用生物科学部学務係宮本係員の事務職員3名が参加し、両会場での本学ブースにおける留学相談や、現地の教育機関との懇談を行った。両会場には併せて約400名の来場者があり、日本留学への関心の高さがうかがえた。

留学フェア終了後の21日（月）には、学術交流協定校であるハノイ工科大学を訪問し、国際交流担当のMai Thanh Tung 准教授や、本学の卒業生でもある生物食品工学部の Tran Lien Ha 先生と教育・研究交流の促進について意見交換を行った。

今回のベトナム訪問を通じて得た現地学生のニーズや教育機関の情報を、今後の国際交流事業に生かしていくこととしている。



Gifu 留学フェア in ホーチミンでの本学ブースの様子（11月19日）



Gifu 留学フェア in ハノイでの留学相談の様子（11月20日）



ハノイ工科大学訪問（Mai Thanh Tung 准教授と）（11 月 21 日）



ハノイ工科大学訪問（Tran Lien Ha 先生と）（11 月 21 日）

第7回連合農学研究科セミナーを開催

大学院連合農学研究科は、11月22日（火）、「第7回連合農学研究科セミナー～FROM 岐阜連農 T0 産総研～」を開催し、33名の参加者があった。

中野同研究科専任教員の挨拶のあと、最初に国立研究開発法人 産業技術総合研究所（以下 産総研）から産総研連携大学院制度について説明があり、大学院生の受入、研究指導やリサーチアシスタント等の紹介があった。

続いて、同研究科客員教員である産総研所属の6名の教員から、研究について講演及び質疑応答が行われた。

参加した学生からは「研究のモチベーションの持続方法」について質問があり、産総研教員からは、経験談に基づいたアドバイスがあった。

同研究科と産総研は連携機関であり、研究のみならず学生への研究指導を通して、交流をより深めることを確認する良い機会となった。



研究紹介を行う亀山氏



研究活動について助言する千葉氏

教育学部附属中学校で「学校と地域を繋げる消費者教育実践」を実施

11月22日（火）、教育学部附属中学校で、岩手県立県民生活センターと連携した「学校と地域を繋げる消費者教育実践（授業）」が行われた。

今回の実践は、岩手県立県民生活センター「小中学校消費者教育先進校等調査」の一環として行われた。授業設計には、中学校教員・消費生活アドバイザー・消費生活専門相談員・大学教員が関わり、本学教育学部の田中伸准教授がコーディネーターを務めた。

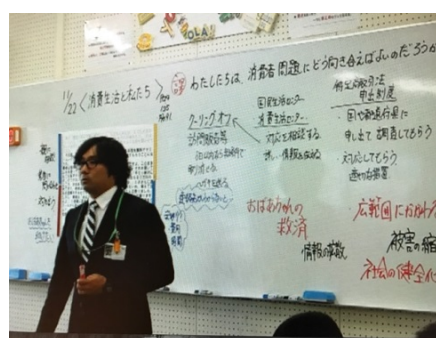
当日は、岩手県消費者教育推進専門員、岩手県教育委員会及び岩手県内小中学校の合計15名が本学教育学部附属中学校の前田教諭、矢島教諭の実践（授業）の様子を見学し、その後、より良い実践のあり方についての懇談会が行われた。

学校と地域が連携することを大切にして行われた本実践には、多様な主体が参画したことにより、学校教員のみによって行われる通常の授業と比べ非常に密度の濃い内容となった。

今後の学校教育や消費者教育の実践について考える非常に有意義な機会となった。



生徒同士の議論による授業展開の様子



密度の濃い授業展開

大学院連合創薬医療情報研究科創設10周年記念行事を開催

11月25日（金）、サテライトキャンパスにおいて、大学院連合創薬医療情報研究科創設10周年記念行事が開催された。

同研究科は、平成19年4月1日に本学医学部・工学部ならびに岐阜市立の岐阜薬科大学を母体とする国立と公立間の初めての連合大学院として創設され、創薬科学及び医療情報学を中心とした教育・研究を展開し、高度な専門性と先見性、柔軟な発想を有する最先端な領域で活躍できる人材の育成を目指し、本年10周年を迎えた。

記念式典では、森脇学長より「本学教職員のみならず、様々な方のご指導・ご支援のおかげで研究科としての目的を達成できている。引き続き役割を果たしていきたい」と、稲垣岐阜薬科大学長より「世界にアピールできるような教育・研究に引き続き取り組んでいきたい」と挨拶があった。

続いて、丹羽研究科長より概要説明があり「創薬をキーワードに、ワンキャンパスで多様な連携がとれることが最大の強み。10周年の節目を迎え、一層の役割を果たしていきたい」と決意が語られた。

その後、記念講演として、本学の元学長である黒木登志夫名誉教授より「大学間格差はべき乗則にしたがう」と題した講演があった。

行事の終わりには祝賀会が開催され、来賓である本学前学長の森秀樹名誉教授、元岐阜薬科大学長の永井博弐氏及び元アステラス製薬株式会社代表取締役会長の竹中登一氏から祝辞があった。

同研究科は、今後も創薬・医療情報・トランスレーショナルリサーチをキーワードとした教育・研究・人材養成の場としてグローバルな展開を遂げるとともに、キャンパス内のハブ的な役割を更に高めるべく取り組んでいく。



挨拶する森脇学長



挨拶する稲垣岐阜薬科大学長



丹羽研究科長による概要説明



黒木元学長による記念講演



森前学長による祝辞



永井元岐阜薬科大学長による祝辞



竹中氏による祝辞



北出初代研究科長による乾杯



紀ノ定前研究科長による挨拶

研究推進・社会連携機構が日本政策金融公庫（岐阜支店）と産学連携等の協力推進に関する協定を締結

11月25日（金），研究推進・社会連携機構（機構長：福士 秀人 理事・副学長（学術研究・情報担当））は，株式会社日本政策金融公庫岐阜支店（支店長：木村 正明氏）と「産学連携等の協力推進に関する協定」を締結した。

本協定は，地域の産学連携や起業家教育を推進し，地域社会の発展に貢献することを目的として締結された。

具体的には，本学と日本政策金融公庫は，緊密な情報交換を行い，保有する知見を相互に活用することにより「①岐阜大学の研究成果等を活かした創業者等に対する金融支援」や「②地域社会における起業家及び中核人材の育成に関する講義の実施」等を推進し，地域社会の発展に努めていくこととしている。



協定締結後の集合写真（左から3番目が福士機構長，左から4番目が木村支店長）

連合農学研究科が「第3回国際ワークショップ」を開催

大学院連合農学研究科では、カセサート大（タイ）の協力を得て11月28日（月）・29日（火）の2日間、タイにおいて『第3回国際ワークショップ』を開催した。

本企画は、大学のグローバル化の推進と現地産業界との交流を推進することを目的とし平成26年度から実施しているもの。

初日の28日（月）はカセサート大において「健康・食・エネルギーに貢献する最新の微生物学研究」をメインテーマとし、ワークショップが開催された。

ワークショップでは、基調講演、IC-GU12（岐阜大学の呼びかけで形成された「南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム」の略称）の活動紹介、両大学による研究紹介や研究インターンシップの実施状況報告、タイの地元企業4社の企業紹介が行われた。

約90名の参加者は、熱心に耳を傾けており、意見交換も活発に行われ、グローバル化促進のための交流の場として成功のうちに終了した。

2日目の29日（火）は、バンコク市郊外にあるカンペンセンキャンパスの視察や Thai Foods International Co.,Ltd. 訪問（工場見学）が行われた。

カンペンセンキャンパスは、学生寄宿舍や生活に必要な施設が敷地内に完備され、参加者は学生が勉強に集中できるよう整備されている環境が肌で感じられた。

工場見学では、周辺地域の資源を有効に活用し、低コスト化が図られていること等について理解が深められた。



鈴木理事の基調講演



スパ理学部長（カセサート大）の歓迎挨拶



研究紹介の様子



質疑応答風景



インターンシップ研究状況報告する学生



発表者、関係者等集合写真

「ISO 14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を実施

11月30日（水），「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式が行われた。

本学は、医学部附属病院を除く全学で ISO 14001 を認証取得しており，毎年職員と有志の学生による ISO 14001 内部環境監査を行っている。内部環境監査とは，本学の環境マネジメントシステムが ISO 14001 の規格に沿って運用出来ているかを内部の者により確認するもの。参加学生は ISO 14001 の規格の概要や，内部環境監査の手法について研修を受けたうえで，実際に職員とともに内部環境監査に参加し，学生からの目線で意見を述べる。

授与式では，森脇学長の挨拶の後，今年度に本研修を修了した6名の学生一人ひとりに，学長から修了証書が授与された。

その後の意見交換で，学生は「大学の環境活動について詳しく知ることができ勉強になった」「学生の認知度が低いので，もっと周知した方がいい」と内部環境監査に参加した感想を述べ，学長からは「ぜひこの活動を後輩に引き継いでいってほしい」と激励の言葉を述べた。



集合写真（前列右端が森脇学長、前列左端が横山理事・副学長）



意見交換の様子

「秋のクリーンキャンパス」を実施

本学は、11月30日（水）に清掃活動「秋のクリーンキャンパス」を実施した。

本学は、平成21年11月に『環境ユニバーシティ』を宣言し、環境に配慮した大学づくりに取り組んでいる。この『環境ユニバーシティ』を宣言した日にちなみ、毎年11月を「岐阜大学環境月間」としてさまざまな行事を実施しており、「秋のクリーンキャンパス」もその環境月間行事の一環として毎年実施している。

当日は、教職員や学生715名が参加し、1時間程度キャンパス内のごみや落ち葉などを集めた。また、花の苗や球根を植える活動もみられた。この他、今回も、本学キャンパス内に校舎がある岐阜薬科大学の職員や学生の参加協力があった。

キャンパス内の清掃活動とともに、キャンパス周辺にある新堀川の川岸の清掃も毎回行っている。その活動に全部局から34名が集まり、横山総務・財務担当理事の挨拶の後、参加者は力を合わせて川岸のごみ拾いなどの清掃活動を行った。



落ち葉を集める学生



新堀川清掃活動の様子

「秋の国際月間」において様々な行事を開催

グローバル推進本部は、学生及び教職員の国際性を高めることを目標とし、11月を「秋の国際月間」と位置づけている。今年度は、以下の行事を開催した。

1. 留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会（11月8日）

生協第2食堂にて、森脇学長をはじめとする役員、部局長等と留学生、外国人研究者及びその家族等が一堂に会し、親睦を図ることを目的として学長主催により懇談会が開催された。余興として、国別に構成された学生グループ7組から、歌やダンス、武道等のパフォーマンスが披露され、観客を楽しませた。懇談会には約180名が参加し、参加者らは食事と歓談を楽しみながら、互いの交流を深めた。



記念撮影



学生と懇談する森脇学長



学生によるパフォーマンス

2. 地元企業との交流会（共催：岐阜信用金庫）（11月9日）

日本での就職を希望している外国人留学生や海外で働くことに関心の高い日本人学生を

対象に岐阜県内の企業を広く知ってもらうことを目的に、岐阜信用金庫との共催で平成24年度から毎年実施しており、今回で5回目の開催となった。今回は岐阜県内の製造業や輸出入業など幅広い業種から15社の参加を得て、外国人留学生および日本人学生合わせて約60名が参加した。



各参加企業によるプレゼンテーション



地元企業ブースでの懇談

3. English Lounge（11月7日、21日）

秋の国際月間のスペシャル企画として English Lounge “Invitation to Summer School Program at Northern Kentucky University” を2回にわたり開催し、本学の大学間学術交流協定大学であるノーザンケンタッキー大学主催サマースクールプログラムに参加した教育学部1年の学生8名が発表を行った。発表者が目的を持って留学することや積極的に勉強することの大切さなどを伝えたのに対し、参加者からは本学の学生が英語を駆使し海外でチャレンジしたことを知り刺激を受けたという意見もあり、発表者・参加者にとって文字通りスペシャルな企画となった。



発表の様子

4. Gifu 留学フェア（主催：岐阜県）（11月18日～20日）

本学はベトナムで開催された岐阜県主催の「Gifu 留学フェア」に参加した。本フェアは岐阜県内の大学・教育機関へベトナムからの留学生を呼び込むことを目的とし、ハノイ、ホーチミンの両都市で行われた。両会場での本学ブースにおける留学相談や、現地の教育

機関との懇談を実施した。両会場には併せて約 400 名の来場者があり、日本留学への関心の高さがうかがえた。



Gifu 留学フェア in ホーチミンでの本学ブースの様子



Gifu 留学フェア in ハノイでの留学相談の様子

5. ポットラックパーティ（11月25日）

柳戸会館集会ホールにて、本学の留学生・学生・教職員とその家族らがそれぞれ食べ物を持ち寄り交流するポットラックパーティが開かれた。参加者は、初めに英語での自己紹介と料理の説明を行い、その後、グループに分かれてゲームを行った。このパーティーは、秋の国際月間の一環として毎年開催されており、英語でのコミュニケーションを通じて世界各国の食文化を知る良い機会となっている。今回は中国、インド、インドネシア等からの伝統料理やデザートが集まったほか、日本の家庭料理も振る舞われ、約 20 名の参加者が楽しいひと時を過ごした。



集合写真



ゲームの様子

6. 第15回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会（11月26日）

サテライトキャンパスにて、第15回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会を開催した。本大会は、本学が事務局を務める「岐阜地域留学生交流推進協議会」が、外国人留学生の日本語学習意欲の喚起及び日本語の表現能力の向上を目的として行っている事業で、県内の大学、短期大学から集まった9名がスピーチを行い、約40名が参加した。



7. 外国人留学生交流フォーラム（共催：十六銀行）（11月30日）

本フォーラムは、学生に岐阜県内に所在する国内外で活躍できる可能性のある企業について知ってもらうことや、地元企業の優れた点・成長性を知ってもらうことを目的としており、今回で2度目の開催となった。留学生を含む約20名の学生が参加した。株式会社テクノプレニードヒダ代表取締役 肥田彰吾氏及びムトー精工株式会社主任 喜多俊博氏より自社紹介がされ、その後パネルディスカッションでは、企業が求める人材や採用のポイントについて討論された。最後に、各企業を囲んで2グループに分かれての座談会が行われた。



その他、生協第1・第2食堂においては「世界の料理フェア」が実施され、学生らはインド・韓国等の味覚を楽しんだ。各行事のアンケートに対する回答も好評で、来年の国際月間の開催を早くも期待する声が多数あった。来年度以降も大学の更なる国際化推進を推し進めるため全学的取組みとして実施する。

八百津町と連携に関する協定を締結

本学と八百津町は、12月1日（木）に連携に関する協定を締結した。

この協定は、本学と八百津町が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力のある地域社会の形成及び発展、未来を担う人材育成並びに町民等の教育文化活動等の推進に寄与することを目的としている。なお本学が地方自治体と連携協定を締結するのは今回で20件目のこと。

協定締結式では、金子政則八百津町長より「岐阜大学とは、これまでも『命のビザ』で知られる杉原千畝に関する取り組みや、次世代エネルギー産業の創出などの分野で協力関係を深めてきた。協定をきっかけに、より広い分野でつながりが深まることに期待する。」と、森脇学長からは「八百津町には、岐阜大学の研究の強みの一つである次世代エネルギー研究の分野で、フィールドを提供いただいている。本学にとって節目である20番目の包括連携協定を締結する地方自治体ということに、ご縁を感じている。今後とも連携を深めていきたい。」と挨拶があった。

今後本学と八百津町とは、杉原千畝を核とした人道教育の推進や、低炭素社会の実現と次世代エネルギー産業の創出に向けた取り組みの推進をはじめ、少子化対策や移住・定住推進、防災対策、人材育成、農作物ブランド化、観光、地域文化の振興、地域コミュニティ活動の活性化などについて取り組むため、協議を進めていく予定である。



協定を締結し、握手を交わす森脇学長（右）と金子八百津町長

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
博士(医学)	甲第1029号	オギソ ヒデユキ 小木曾 英介	平成28年11月16日	The deficiency of Indoleamine 2,3-dioxygenase aggravates the CCl4-induced liver fibrosis in mice. (インドールアミン2,3-酸素添加酵素の欠損は四塩化炭素により誘導されるマウスの肝線維化進展を増悪させる)
博士(再生医科学)	甲第1030号	ユリグチ ミノル 百合口 稔	平成28年11月16日	Pigmentation of regenerated hairs after wounding. (マウス創傷治癒後の再生毛の発色)

平成28年秋の生存者叙勲 ―本学関係者1名が受章―

平成28年秋の生存者叙勲が11月3日に発表され、本学関係者では次の者が受章した。

文部行政事務功労

瑞宝小綬章

奥野 輝夫 氏
(元岐阜大学事務局長)



表彰受賞者

日本ばね学会 論文賞

受賞者：柿内 利文 工学部准教授

業績名：陽電子消滅法によるステンレス鋼 SUS316 の微小疲労き裂発生挙動評価

受賞日：平成 28 年 11 月 4 日

土木計画学研究委員会 優秀論文賞

受賞者：倉内 文孝 工学部教授

杉浦 聡志 工学部助教

業績名：時空間拡張ネットワークを用いたリンクベース最適避難計画モデルの構築

受賞日：平成 28 年 11 月 4 日

平成 28 年度文部科学大臣表彰 「学校給食表彰」(個人) 受賞

受賞者：長屋 千穂 教育学部附属小学校栄養教諭

受賞日：平成 28 年 11 月 10 日

全国小学校理科研究協議会 第三回全国小学校理科開発教材コンテスト ヤガミ賞受賞

受賞者：藤原 玄宜 教育学部附属小学校教諭

教材名：熱伝導と対流のあたため方の違いがなぜ起きるのか考えることのできる教材

受賞日：平成 28 年 11 月 10 日

外国人研究者の受け入れ（11月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
応生	アブデルラーマン アブデルサタール Abdel-Rahman Abdelsatar エルサイド アボラワシュ Elsayed Abou-Rawash (エジプト)	ダマンフル大学獣医学部・ 教授 Professor, Faculty of Veterinary Medicine, Damanhour University	2016/11/1～ 2017/2/28	エジプトにおけるマレック病ウィルスのスクリーニ ング Egyptian field screening for Marek's disease
工学	トウ ファンセイ 董 文正 (中国)	湘潭大学 講師 Lecturer, Xiangtan University	2016/11/15～ 2018/11/14	マルチケース解析による高強度銅板のプレス形成に おける焼き付き機構の解明 Multi-scales analysis on galling mechanism in sheet metal forming
工学	シャイカ ユンヌス ブダン Shaikh Yunnus Budan (インド)	国立化学研究所 研究員 Research Associate, National Chemical Laboratory	2016/11/19～ 2017/4/29	生理活性を有する化合物の調整 Preparation of biological active compounds

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成28年11月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	井上 吉弘	(株)豊田中央研究所
工学部	加藤 邦人	(株)エヌテック
工学部	神谷 浩二	(株)白川園本舗
工学部	武野 明義	茶久染色(株)
工学部	仲井 朝美	岐阜県工業技術研究所
工学部	中村 誠	日本電信電話(株)
工学部	八嶋 厚	太洋基礎工業(株)
工学部	山田 貴孝	(株)エイエムディ自動機
工学部	吉田 弘樹	(株)テイコク
工学部	吉田 佳典	新日鐵住金(株)
応用生物科学部	前澤 重禮	岐南町
応用生物科学部	光永 徹	ヤマガタヤ産業(株)
応用生物科学部	矢部 富雄	一丸ファルコス(株)

○受託研究

(平成28年11月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	鶴見 寿	京都大学
医学系研究科	森田 啓之	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
応用生物科学部	猪島康雄	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

メディア掲載一覧

○新聞

(平成28年11月分)

掲載日	新聞名	内容
11月1日	岐阜	◎研究室から大学はいま:皮膚筋炎の自己抗体調べる ～医学部附属病院皮膚科 周 円 講師～
11月1日	岐阜	進路や職業,先輩が助言 岐阜高で1年生に講義 ～医学部附属病院 大江直行 准教授～
11月3日	中日	川底耕シアユ産卵場 地元写真家ら造成 ～工学研究科1年 大橋一弘さん～
11月3日	岐阜	◎素描:養老山地の扇状地 ～木村正信 名誉教授～
11月4日	岐阜	バラは人類の文化遺産 国際園芸アカデミー学長が講演 品種保存の重要性訴え ～応用生物科学部 福井博一 学部長～
11月4日	岐阜	岐阜の鉄道 新旧大集合 模型運転やグッズ販売
11月5日	岐阜	遺伝子と病気 20日市民講座 岐阜大病院
11月7日	岐阜	皮膚病テーマに医師が市民講座
11月8日	岐阜	◎夕閑帳:リオ・パラリンピックからの知見 ～岩田弘敏 名誉教授～
11月8日	中日	避難所 心のケア重要 岐阜大が防災シンポ ～教育学部 板倉憲政 助教, 流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授～
11月8日	岐阜	◎研究室から大学はいま:「ことば」から人と社会結ぶ ～教育学部 英語教育講座 仲 潔 准教授～
11月9日	岐阜	ニホンイシガメ乱獲 輸出目的, 東海地域で急増 岐阜大は繁殖活動 ～応用生物科学部 楠田哲士 准教授～
11月9日	日本経済	岐阜大, 生命科学の研究拠点 ～生命の鎖統合研究センター～
11月9日	岐阜	学生の課題解決力養成 岐阜大で産官学金連携「実践教育」開始 優秀な人材の岐阜定着促進 ～生命の鎖統合研究センター～
11月9日	朝日	「第三の生命鎖」 岐阜大が研究に力 新センター立ち上げ ～生命の鎖統合研究センター～
11月10日	岐阜	岐阜大の研究や活動 発表 高山で12,13日にフェア ～岐阜大学フェア 2016 in 高山～
11月10日	岐阜	第67回岐阜新聞大賞選考委 各部門の候補者審議 ～選考委員長 森脇久隆 岐阜大学長～
11月10日	岐阜	◎素描:揖斐川の舟運 ～木村正信 名誉教授～
11月11日	中日	てんかん発作 対応法を紹介 岐阜で市民講座
11月11日	岐阜	経営哲学を熱弁 壺番屋創業者 宗次さん, 岐阜大で講演 ～岐阜大学地域交流協力会～

11月12日	岐阜	短期留学, 大きな自信 岐阜大生 米での成果, 英語で発表
11月12日	岐阜	食物繊維, しっかり摂取を ～医学系研究科内分泌代謝病態学 武田 純 教授～
11月13日	中日	岐阜大の講義 高山で体験を きょうまでフェア ～岐阜大学フェア 2016 in 高山～
11月13日	岐阜	講演や体験通じ健康管理を学ぶ 岐阜市で「つどい」 ～医学部附属病院 秋山治彦 副病院長～
11月15日	岐阜	◎夕閑帳:長良西敬老会・金婚祝い ～岩田弘敏 名誉教授～
11月15日	岐阜	◎研究室から大学はいま:よりよい雇用環境を考える ～地域科学部地域政策学科 新井田智幸 助教～
11月16日	岐阜	努力の分だけ結果出る 壱番屋創業者 岐阜大で講演
11月16日	中日	障害者スポーツ 競技の組織化後押し 県と県協会 交流, 普及活動しやすく ～岐阜ボッチャ協会会長 医学系研究科 青木隆明 特任准教授～
11月16日	岐阜	海外進出 ヒントつかめ 企業が留学生と意見交換
11月16日	岐阜	科学技術振興へ助成金 遠藤斉治財団 県内団体に授与
11月16日	岐阜	絵や掛け軸, 趣味の成果 岐阜大職員 OB が作品展
11月17日	岐阜	目指せスポーツ王国 7大学の選手ら座談会 「子どもとの交流拡大」提言
11月17日	岐阜	共生社会テーマ 19, 20日に学会 ～池谷尚剛 教育学部長～
11月17日	岐阜	◎素描:駒野の黄金山 ～木村正信 名誉教授～
11月17日	読売	県 ベトナムで留学フェア ホーチミンとハノイ 制度 受け入れ環境 PR
11月17日	朝日	◎ひだりみの:最適な流通 真剣に提言 食の安全・安心功労者表彰の岐阜大教授 前沢重礼さん
11月17日	中日	10周年 25日に記念式典 岐阜大院・連合創薬医療情報研究科
11月18日	岐阜	ジビエ普及へ大学生が意見 岐阜大, 郡上市関係者と討論会 ～ぎふフューチャーセンター～
11月19日	中日	中日こどもウイークリー 社説「増えすぎ外来種」 ～応用生物科学部 浅野 玄 准教授～
11月19日	岐阜	献体者の冥福祈る 岐阜大医学部生ら慰霊 ～湊口信也 医学部長～
11月20日	岐阜	「県女性の活躍支援センター・男女共同参画プラザ」オープン 県内の支援機能を集約 ～林 正子 副学長(多様性人材活力推進担当)～

11 月 20 日	中日	壮大ハーモニー響く 岐阜 バッハ愛好家ら共演 ～植松 峻 名誉教授～
11 月 20 日	中日	宇宙へはロケットとは考えないで！ 岐阜で JAXA 川口さん講演会 ～教育学部附属小学校4年 出野隼人さん～
11 月 20 日	岐阜	県ユニセフ協会結成5周年 支援活動, 継続誓う ～県ユニセフ協会 会長 森脇久隆 岐阜大学長～
11 月 21 日	東京	社説「広がるクマ被害」 ～応用生物科学部 浅野 玄 准教授～
11 月 21 日	中日	社説「広がるクマ被害」 ～応用生物科学部 浅野 玄 准教授～
11 月 21 日	岐阜	◎夕閑帳:暗黙知と形式知 ～岩田弘敏 名誉教授～
11 月 21 日	岐阜	観光にリニア活用を 大学生と行政, 意見交換 ～第7回ぎふフュー チャーセンター～
11 月 21 日	中日	岐阜大サークル 企画や運営参加 東山動物園寄席 ～動物園学生 くらぶ 1年 野口佳純さん～
11 月 22 日	中日	FC 岐阜前社長・恩田さん 人生の答えは一つではない 岐阜大生を 前に講演
11 月 22 日	岐阜	「公園に保育施設や高齢者憩いの場を」 中学生が公共施策提言 岐阜大で“授業” 県議と施設活用議論 ～教育学部 田中 伸 准 教授～
11 月 22 日	岐阜	◎研究室から大学はいま:ポリマー素材, より高性能に ～工学部化 学・生命工学科 三輪洋平 准教授～
11 月 23 日	中日	ITをめぐり産官学が交流 県情報産業協
11 月 24 日	朝日	人材確保 産官学連携フェス 初開催 県内 197 社参加 ～3年 河 上俊一さん～
11 月 24 日	岐阜	◎素描:治水の恩人デ・レーケ ～木村正信 名誉教授～
11 月 25 日	中日	「学校美術館」見て触れて 本巢中で愛知, 岐阜の作家ら展示 ～教 育学部 辻 泰秀 教授～
11 月 26 日	毎日	学生との連携でイベント活性化 中津川市
11 月 26 日	中日	連合創薬医療情報研究科 10 周年祝う 岐阜大院が式典 ～連合創 薬医療情報研究科～
11 月 26 日	岐阜	連合大学院 10 周年祝う 岐阜大と薬科大「研究者育成で成果」 ～ 連合創薬医療情報研究科～
11 月 26 日	岐阜	とても勇敢な人 カウナス工科大 インガ・スキアドライテ准教授 ～ 藤井 洋 名誉教授～
11 月 27 日	岐阜	◎サンデーコラム:喘息抑える自然免疫 過度の除菌逆効果? ～ 医学系研究科 國貞隆弘 教授～

11 月 27 日	朝日	文化の違いなど 留学生9人発表 岐阜で弁論大会 ～教育学研究科2年 林楷発さん～
11 月 27 日	中日	アジアの留学生 日本語弁論競う ～教育学研究科2年 林楷発さん～
11 月 28 日	岐阜	◎教えてホームドクター:統合失調症の原因 ストレスなど要因に 脳内の神経伝達に混乱生じる ～医学部附属病院 塩入俊樹 教授～
11 月 29 日	岐阜	◎夕閑帳:日本舞踊を鑑賞して ～岩田弘敏 名誉教授～
11 月 29 日	中日	輝きに来季の飛躍誓う クリスマスに向け電飾を点灯 岐阜大附属病院でFC 岐阜選手ら ～医学部附属病院～
11 月 29 日	岐阜	脳卒中予防法を紹介 専門医らセミナー ～医学部 岩間 亨 教授～
11 月 29 日	岐阜	◎研究室から大学はいま:「共に生きる」教育臨床 実践 ～教育学部附属特別支援教育センター 神野幸雄 准教授～
11 月 30 日	岐阜	食の安全 プロに学ぶ 岐阜大生と食品業者が懇談 ～応用生命科学課程・専攻の学部生や大学院生ら～
11 月 30 日	岐阜	日本語で夢を熱弁 県内留学生が弁論大会 ～教育学研究科2年 林楷発さん～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成28年11月分)

放送日	番組名	内容
11 月 4 日	Web メディア HANJO HANJO	◆産学連携「こんな教授と仕事がしたい！」協業成功に必要なコト 研究推進・社会連携機構 馬場大輔 特任准教授
11 月 7 日	チャンネル CCN 地上デジタル 12cH 「エリアトピックス」	8:45, 11:45, 12:45, 20:45 に放送 11 月 2 日に笠松小学校において学校美術館の実践の様子 教育学部 辻 泰秀 教授
11 月 14 日	FM わっち 「岐阜大学からこんにちは」 12:41～13:00	保健管理センター 堀田 亮 助教, 教育推進・学生支援機構 船越高樹 特任助教, 医学教育開発研究センター 川上ちひろ 助教

◇第6回岐阜大学グローバル推進本部会議

11月2日（水）

◇ 第7回授業編成専門委員会

11月7日（月）

（審議事項）

1. 平成28年度前学期授業評価アンケートの集計結果及び平成28年度後学期授業評価アンケートについて
2. 平成28年度前学期科目ごとの成績分布について
3. 平成28年度後学期の履修登録状況について

◇ 第79回経営協議会

11月8日（火）

（審議事項）

1. 職員就業規則等の一部改正（案）について

◇第8回教学委員会

11月15日（火）

（審議事項）

1. 岐阜大学大学院学則及び岐阜大学学位規則の改正について（継続審議）
2. 岐阜大学大学院入学資格に関する規程の制定について
3. 「岐阜大学における3つの方針」について（継続審議）
4. 「順次性のある体系的な教育課程の再構築に向けて（ナンバリングの導入）」について（継続審議）
5. 平成28年度応援奨学生について
6. 授業料免除等にかかる学業成績の認定基準について

◇第547回 役員会

11月17日（木）

（議事）

1. 職員就業規則等の一部改正（案）について
2. 教育職員雇用事前協議について
3. 教育職員雇用申請について
4. 研究推進・社会連携機構 生命の鎖統合研究センターの教員配置について
5. 懲戒処分事案について

◇第7回 部局長・部長会

11月17日（木）

（協議事項）

1. 岐阜大学創立70周年プロジェクトの実施について
2. 大学設置基準の一部改正に伴う職員研修規程の見直しについて（案）

◇第548回 役員会

11月24日（木）

（議事）

1. 八百津町との包括連携協定の締結について
2. 教育職員雇用申請について

◇第153回 教育研究評議会

11月24日（木）

（審議事項）

1. 平成29年度の全学共通教育科目に係る非常勤講師経費の負担に関する申合せ（案）について
2. 岐阜大学における3つの方針について
3. 教育研究院の設置に伴う新たな規程の制定案について

◇第7回入学試験専門委員会

11月30日（水）

（審議事項）

1. 平成29年度工学部ツイニング・プログラム入学者選抜試験学生募集要項（案）について

主要日誌

月 日	行 事 名
11 / 2	第6回岐阜大学グローバル推進本部会議
7	第7回授業編成専門委員会
8	第79回経営協議会
9	教授会・代議員会(工・メディア)
11	代議員会(連農)
15	第8回教学委員会 研究科委員会(連創)
16	教授会・研究科委員会(教・地・医・看・応)
17	第547回 役員会 第7回 部局長部長会
18	代議員会(連獣)
24	第548回 役員会 第153回 教育研究評議会
25	連合創薬医療情報研究科創設10周年記念行事
29	教授会(生)
30	教授会(流・留) 第7回入学試験専門委員会